

吉良川事業所管内より



## 100年以上受け継がれてきた 伝統野菜を絶やさない!! 谷口 精作さん(75)

室戸市吉良川町の日南地区で、水が豊かでなければ育成が難しいとされている伝統野菜田芋（里芋）の収穫が始まりました！

生産者は6人と少なくなりましたが、地域で100年以上前から大事に受け継がれてきた希少な野菜です。

田芋栽培は雑草取りや泥の中で育った田芋の収穫など、見た目以上に重労働です。高齢化も進み、後継者不足となっていますが、現在も田芋栽培や田芋チップスなどの加工品作りを続けています。

同地区で1200株の田芋を育てている谷口精作さんは、「日南地区で作られた田芋は寒暖差があるので、他と比べても粘りが強いのが特徴。天ぷらや煮物にして食べてほしい」と呼び掛けます！

田芋は翌年3月末まで、地元のキラメッセ楽市やJA高知県吉良川支所のAコープで販売している他、加工品の田芋チップスは、集落活動センターひなたぼっこで販売しています☆

中山事務所管内より



## 永遠に続くボール拾いが 僕の生きがい 凛太郎くん(8) 飼い主：小松 知喜さん

コーギー犬の凛太郎くんは、とにかく走るのが大好き♪

取材に行ったこの日も家の近所にあるいつもの公園で飼い主の知喜さんが投げたボールを素早く走って球拾いをしてくれました！

なんと、このキャッチボールは小さい頃から教えたわけでもないのに自然と覚えたそう！ 投げたボールを華麗にキャッチしては飼い主の目の前にボールを持っていき、「もう一回投げて！」と言わんばかりに目をキラキラ光させて待っている凛太郎くん。永遠に続くキャッチボールで知喜さんと遊ぶのが今の凛太郎くんの生きがいです☆

飼い主の知喜さんは「チャームポイントのお尻をふりふりさせて走っている姿や、足が短いところが可愛い」とコーギーの魅力を話してくれました！

## 猫4匹に囲まれる 猫まみれの日常♪♪

すっぴーちゃん(9) つきちゃん(8)

にこちゃん(5) いちこちゃん(5)

飼い主：川竹 康子さん

猫好きなら誰もが夢みる、大勢の猫たちとの毎日♪ にぎやかで楽しい猫まみれな多頭ライフをご紹介します♪

川竹家に、保護猫としてやってきた4匹の猫たち。にこちゃんといちこちゃんは姉妹で保護され、今でも一緒に寝るほど仲良しです。最年長のすっぴーちゃんは愛媛県から保護されてはるばる高知県へやってきました。



つきちゃんは、人懐っこくて康子さんの肩に乗るのが大好きです♪

川竹家にはたくさんの猫がいるからか、野良猫たちが家にやってくるそうで、いちこちゃんと取っ組み合いをしてそのまま家を脱走してしまったこともあります！

飼い主の康子さんは「携帯に猫たちの写真がいっぱいあるけれど、可愛くて消せない。ひ孫のような存在です」と可愛い猫ちゃんたちにメロメロです♥

穴内事業所管内より



## 僕たち3年前に 高知に引っ越してきました

山内 鳩真くん(3)

慶真くん(9)

マロくん(16)

3年前に奈良県から高知県に引っ越してきた山内家。一緒に暮らすミニチュアピンシャーのマロくんの大好きな散歩道で兄弟仲良く写真を撮られました♪

お兄ちゃんの慶真くんは、今でも関西弁で話しているそうですが、引っ越した当時、小さかった弟の鳩真くんはバリバリの土佐弁です！

そんな兄弟の今の楽しみは、ナスのハウスに行った時におやつにもらえるヤクルトです！ 鳩真くんは働く車が大好きで、ナスを収穫する台車を突いてハウス内を走り回っているそうです♪ 将来はナス農家になる日が来るのかな？

お母さんも期待しています★

父・将史さんと母・香実さんは「2人とも元気に健康に育ってね」と一番近くで成長を見届けています。

# 5 吉良川支所 青少年部食育活動 児童に野菜の植え付け指導行う



### ジャガイモの種イモを植え付ける児童

JJA高知県青壯年部安芸地区吉良川支部は9月下旬、室戸市立吉良川小学校の1、2年生の児童17人と野菜の種まきをしました。児童からは「野菜によって種の大きさや色が違うのはなぜ」と質問がありました。

同支部の宇賀康雄支部長は「子どもたちに野菜の植え方や収穫の仕方を学んでもらえたら嬉しい」と交流を楽しみました。

野菜は児童が水やりと草引きを続け、年明けの2月に収穫します。ダイコンとカブは青壯年部と一緒に漬物を作り、ジャガイモはカレーを作る予定です。

## 6 あき支所 「なすマダムの安芸市探訪」 プロモーション動画撮影でPR☆☆



10月24日に、安芸市制施行70周年を記念したプロモーション動画の撮影を行いました。

安芸市が生産量日本一のナスやユズを多くの皆さんに知つて楽しんでもらうために、一般消費者や市場関係者の皆さんを対象とした「なすまつり」を令和7年2月28日に開催します。

ゲストとして三山ひろしさんをお迎えし、「なすマダムの安芸市探訪」と題して完成発表も行う予定です。

前売りチケットを販売していますので多くの皆様のご購入をお待ちしております。

**3 安芸集出荷場** 「高知なす」  
**出荷本格化**  **2万1700t出荷見込む**



### 1本1本丁寧にナスを収穫・選別する様子

J A高知県安芸地区管内で、ナスの出荷が本格化しました。今年は昨年同様約2万1700tの出荷量を見込んでいます。

安田町でナス22アールを栽培する県域高知なす部会の清岡克弘部会長は「今年からP Cお竜に栽培品種を切り替え、今までハチを入れるタイミングや消毒のタイミングなど管理面において大変だったが、ゆとりを持つて栽培できるので作業がより楽しくなった」と収穫作業に励んでいます。

収穫は翌年6月下旬まで続く見込みです。

## 4 奈半利支所 支所めぐりウォーキング 交流深め地域の魅力再発見!!



J A 高知県女性部安芸地区は  
10月23日、安芸郡奈半利町で支  
所めぐりウォークイングを開きま  
した。

地区内の各支部が持ち回りで  
開き、今回で5巡目。全8支部  
から23人が参加しました。

参加者は、奈半利町平地区の  
住民手作りの「スモス煙を散策  
しながら部員との交流を楽しみ  
ました。

企画した奈半利支部の竹田正  
子部長は「今年は猛暑の影響で  
コスモスの咲き始めが少し遅い  
が、手作りのかかしや「スモス  
煙を楽しんで」と話しました。

## Monthly Topics

# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



フェアで様々な企画を体験する来場者ら

# 1 地区本部

## イオンモール 消費宣伝

### 「第2回なす」



生産者、JA高知県安芸地区、安芸市、安芸農業振興センターで構成する安芸市施設園芸品消費拡大委員会は10月20日、イオンモール高知で「高知はとびっきりおいしい地産地消フェア」に参加し、県産のナス、米ナス、ユズ、ミョウガ、ピーマンなどの消費宣伝を行いました。

同日は「第2回なすマダムと過」、「す安芸の日」と題してナス・ピーマンの詰め放題、環境保全型農業の出前授業、ハウス野菜観察コーナー、なすマダムによる料理教室の他、ナスやミョウガの試食宣伝などが行われました。

生産者は、「なすと蒸し鶏の梅ソース」「なすピザ」「なすとみょうがの」「ま和え」など1200食を振る舞い、レシピを紹介しました。野菜の詰め放題には、リヤカートに載せたナスとビーマンを100円で販売し開始後10分で売り切れとなるほど盛況でした。

今年が初めての開催となつた親子料理教室では、事前に募集した親子がなすマダムから、なすピザを教わり、参加した子供からは「なすピザにしたら、嫌いな野菜も食べられた」と嬉しそうに話していました。



2 安芸ユズ加工場

生産量日本一の早摘みユズ・香り爽やか  
加工用ユズ搾汁もスタート!!



ユズの生産量日本一を誇るJA高知県安芸地区管内で、ユズの収穫が本格化しました。

旬初期の10月に収穫したものが早摘みユズと呼ばれ香りの強さと果汁の多さが特徴です。安芸ユズ加工場は、県内でもいち早く15日から加工用ユズの受け入れと搾汁を始めました。今年は、加工用と青果用合わせて平年より1割減の約2500tが出荷される見込みです。

ユズの生産量日本一を誇る」「知県安芸地区管内、ユズの収本格化しました。旬初期の10月に収穫したもの、摘みユズと呼ばれ香りの強さとの多さが特徴です。安芸ユズ加は、県内でもいち早く15日から用ユズの受け入れと搾汁を始めた。今年は、加工用と青果用合て平年より1割減の約2500出荷される見込みです。

今年は春先に花が落ちたり、ムシの異常発生により傷果が多くですが、色つきは良く、味やも例年通りで、品質は上々です。

同地区柚子部では930人が、約300ヘクタールで栽培しています。収穫は11月下旬まで続く見込みです。

# ナス

栽培管理



12月から1月は日照時間が短く、気温も低い時期となります。樹勢の維持と病害対策の管理に努めましょう。

## 【整枝・摘葉・光環境】

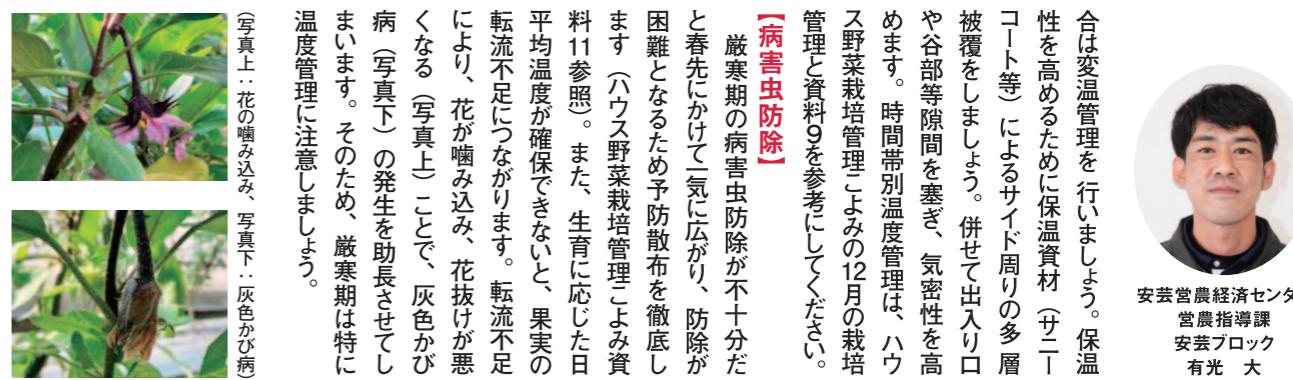
赤果、青べた果を発生させないように、整枝・摘葉を行い採光性を高めましょう。光の透過量を高めるために二重内張りは可能な範囲で巻き上げましょう。樹勢が弱く側枝の生育が悪い場合は、樹勢を維持するために芽かきの頻度を減らし、強い整枝・摘葉を控えましょう。

## 【かん水・追肥】

良ければ点滴かん水は毎日、パイプかん水の場合は2~3日毎を基本に、天候や生育状況に応じて調整します。1ヶ月当りの施肥量は、10アール当たり窒素成分で4.6kgを目安に、品種や生育状況（着果量、収量等）に応じて調整しましょう。

## 【温度管理】

外気温や風向きによってハウス内の温湿度が変化しやすいため、窓の開度をこまめに調整しましょう。夜間は4段サーキュレーターを活用した「データ駆動型農業」の取組をご紹介いたします。



安芸営農経済センター  
営農指導課  
安芸フロック  
有光 大

収穫期以降の管理

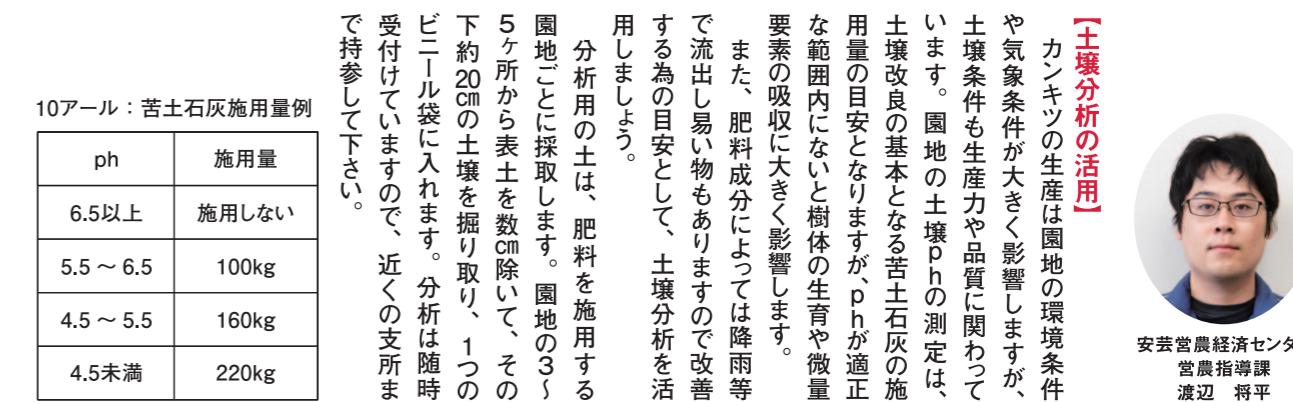
# カンキツ

カンキツではポンカン、土佐文旦等が間もなく収穫を迎えます。来作の栽培に向けての土壤分析や害虫防除をしましょう。

## 【越冬害虫の防除】

ダニ類やカイガラムシ類等の防除は、次年度の発生源となる越冬害虫の密度を低下させるための作業が重要です。特にカイガラムシ類は孵化直後の幼虫以外では、卵や虫体が口吻物質を中心とした被覆物質により覆われているため、通常の薬剤を散布しても薬液が本体自体に届きにくく、防除が困難となります。

冬マシン油の散布は、他の殺虫剤と違って薬剤抵抗性がついたダニ類等の害虫やカイガラムシ類等の難防除害虫にも効果が高いので、散布ムラがないよう、丁寧に葉の裏まで十分な量を散布しましょう。散布時期は厳寒期を避け収穫後から1月中旬頃までに散布できなかつた場合は3月頃にアタックオイル等の高度精製マシン油を散布して下さい。ただ樹勢が弱っている場合は、落葉を助長する事があるので注意しましょう。



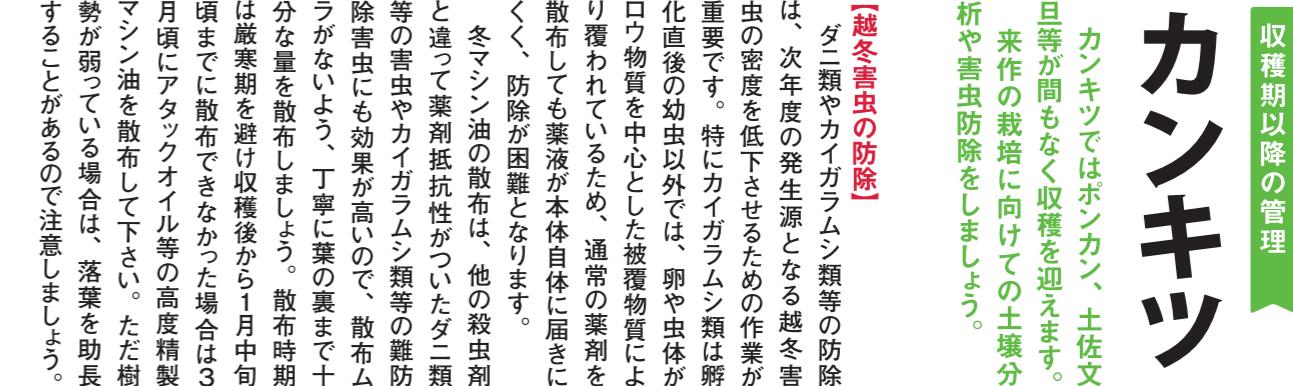
安芸営農経済センター  
営農指導課  
渡辺 将平

## 【土壤分析の活用】

カンキツの生産は園地の環境条件や気象条件が大きく影響しますが、土壤条件も生産力や品質に関わっています。園地の土壤pHの測定は、合は変温管理を行いましょう。保温性を高めるために保温資材（サニート等）によるサイド周りの多層被覆をしましょう。併せて出入り口や各部等隙間を塞ぎ、気密性を高めます。時間帯別温度管理は、ハウス野菜栽培管理」よみの12月の栽培管理と資料9を参考にしてください。

## 【病害虫防除】

厳寒期の病害虫防除が不十分だと春先にかけて気に広がり、防除が困難となるため予防散布を徹底します（ハウス野菜栽培管理」よみ資料11参照）。また、生育に応じた日平均温度が確保できないと、果実の転流不足につながります。転流不足により、花が噛み込み、花抜けが悪くなる（写真上）ことで、灰色かび病（写真下）の発生を助長させてしまします。そのため、厳寒期は特に温度管理に注意しましょう。



# SAWACHIの「データ共有グループ」を活用したデータ駆動型農業の取組について

松木 尚志

振興センターだより

■ 安芸農業振興センター 0887-134-0138

「OPクラウド「SAWACHI」」は令和4年9月に運用開始し、県内で1,423人（令和6年9月末現在）の方に利用していただています。今回は、SAWACHIを活用した「データ駆動型農業」の取組をご紹介いたします。

## ●データ共有グループとは

従来の「経験と勘」に頼ってきた農業から、環境測定機器で計測された環境データに基づいて管理する新しい農業の形です。「データを活用すること」で経験の浅い生産者でも高収量を目指すことができます。特に高知県では環境測定機器から得られたデータを元管理する「OPクラウド「SAWACHI」」によって「データ駆動型農業」をスマートに推進することができました。

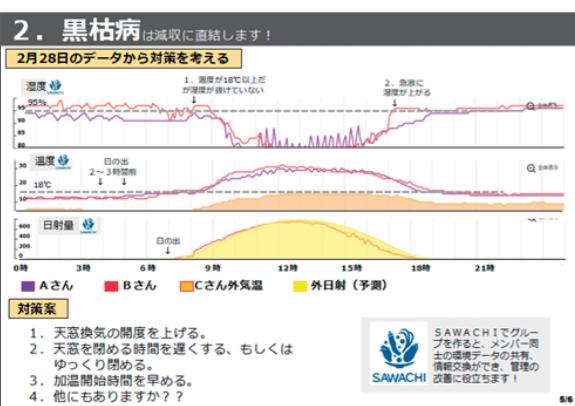


図 参加者のデータの比較資料



図 グループデータの表示



図 相互に意見交換

## ●グループでの相互研鑽

SAWACHIの画面でデータを確認するだけではなく、参加する生産者同士で集まり、相互のデータを見ながら意見交換をすることで、温度は高すぎないか？湿度はこれでいいのか？などの気づきにつながっています。

●今後の取り組み

SAWACHIでは、JAへの出荷量や最新の技術ニュースが確認できるほか、対応の環境測定装置を接続することで「データ共有グループ」の取組に参加できます。SAWACHIは高知県内で農業を営まれている方は無料で利用できます。利用希望や、「データ共有グループ」への参加希望は、お気軽に農業振興センターまたはJA高知県へお問い合わせください。

## ●SAWACHI利用者募集中

SAWACHIでは、JAへの出荷量及び課題は、「データ駆動型農業に取り組む生産者の伴走支援を続け、自らデータを活用し収量の向上につなげる生産者の育成を目指します。また、対象品目のさらなる拡大を目指しています。

●連絡先

室戸支所 安芸農業振興センター 0887-134-0138 0887-222-0268

## 田野支所の店舗統廃合のお知らせ

金融店舗再編により「田野支所」は令和7年3月14日(金)をもちまして、営業を終了し、令和7年3月17日(月)より「奈半利支所」へ統合させていただきましたこととなりました。

ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしますが、今後とも皆様の負託に応える為、地域に根差した総合事業体として質の高いサービスを提供できるよう、役職員一丸となって努力してまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

営業を終了する支所	田野支所
営業終了日	令和7年3月14日(金) ※窓口業務は午後3:00終了
田野支所ATM	田野ATMとして引き続き、ご利用いただけます。 平日: 8:45 ~ 18:00 土曜: 9:00 ~ 17:00 ※日曜・祝日は休業

## 安芸市制施行70周年記念 「なすまつり」一般参加者募集!

安芸市は、生産量が日本一のナスやユズをはじめ、新鮮でおいしい食材がたくさんあります。そんな地元産食材を多くの皆さんに知って楽しんでもらうため、一般消費者や市場関係者の皆さんを対象とした「なすまつり」を開催します。

ゲストとして、県産野菜や果物の魅力を発信している県出身の演歌歌手 三山ひろしさんをお招きします。

前売りチケットを販売しますので、多くの皆さんからの購入をお待ちしております。



**とき** 令和7年2月28日(金) 17時30分～20時30分

**ところ** ホテルタマイ

**主な内容**

- 三山ひろしさんとなすマダムによるトークショー
- 消費拡大PRポスター・デザインコンテスト受賞作品発表、表彰式
- プロモーション動画
- 「なすマダムの安芸市探訪(仮)」完成発表
- 地元産食材を使ったおいしい料理



**対象者** 一般消費者の皆さん

**参加費** 6,000円(前払い)

**定員** 70人(申し込みが定員に達し次第終了)

**募集期間** 12月2日(月)～令和7年1月31日(金)必着

**購入方法** 下記窓口や市農林課窓口、ホームページに掲載しているチケット申込用紙を、下記までFAX、郵送または持参してください。電話でも受け付けします。  
申し込みの連絡を受け付け、チケット代金の支払いが確認できた時点で申し込みが完了しますので、ご了承ください。  
※チケットは2月に発送します。  
※ウイルス感染拡大等の状況によっては、イベントの開催を中止させていただく場合があります。

▼ 詳細およびチケット申込用紙はこちら



**問・申込** 安芸市施設園芸品消費拡大委員会事務局 (JA高知県安芸地区本部 企画組合員課)  
〒784-8503 安芸市幸町1-16  
TEL 0887-34-1515 FAX 0887-35-5964

**税務相談日** 令和6年12月18日(水)

**会場** あき支所3階 **時間** 10:00～16:00  
**問い合わせ** 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515